

## 千葉県立中央博物館 資料百選

全体No.	資料系No.	分野	資料(群)名	点数	資料概要
1	地学-1	岩石・鉱物	千葉石	数点	千葉県で初めて発見・記載された新鉱物で、「千葉」という名前も付いており、まさに千葉県を代表する鉱物です。
2	地学-2	岩石・鉱物	鈴木敏明氏鉱物コレクション	約500点	かつて日本国内で操業していた鉱山で産出した標本を数多く含む鉱物コレクションで、現在では入手困難なものも多く、大変貴重なものです。
3	地学-3	岩石・鉱物	岡山県産高温スカルン鉱物コレクション	52点	日本国内でもきわめて珍しい高温スカルン(石灰岩と花崗岩との接触部にできたもの)鉱物がほとんど網羅されたコレクションです。
4	地学-4	地層(はぎ取り等)	浅海堆積物剥ぎ取り標本	7点	地層の中に残されている堆積構造を実際の地層を剥ぎ取って標本にしています。地層ができる過程を知るうえで大変重要であり、また、多様で美しい自然の模様をみることができます。
5	地学-5	脊椎動物化石	袖ヶ浦市吉野田の下総層群清川層産出の脊椎動物化石	一式	平成20年に千葉県指定文化財となった標本群で、約20万年前の陸生脊椎動物化石相を示す重要な資料です。
6	地学-6	軟体動物化石	保田層群産出のシロウリガイ化石	1点	化学合成群集であるシロウリガイ類は、プレート境界の断層に伴う冷湧水を示す化石として重要です。新鉱物「千葉石」と同産地から産出したものです。
7	地学-7	無脊椎動物化石	坂上澄夫博士化石コレクション	約1,000点	千葉大学名誉教授の坂上澄夫博士が収集した、世界各地のコケムシ化石および国内外のさまざまな無脊椎動物化石のコレクションです。古生代、中生代を中心に、サンゴ、フズリナ、アンモナイト、腕足類など現在では採集できない標本が多数存在します。
8	地学-8	無脊椎動物化石	銚子産虫入りコハク(チョーシア・ヤマダイ)	1点	銚子の白亜紀前期のコハクに入ったツノヤセバチ科昆虫化石です。新属新種の正基準標本であり、日本最古の虫入りコハクでもあります。
9	地学-9	植物化石	銚子産コハク	1点	銚子の白亜紀前期のコハクで、重さが約4kgと、知られている限り銚子産では最大の標本です。当館職員が発見しました。
10	地学-10	地学景観画像	房総半島航空斜め写真	217点	房総半島各地の地形を上空から撮影した写真です。
11	動物-1	貝類	二宮泰三氏収集貝類コレクション	約40,000個体	世界各地の貝類からなる大コレクションで、希少種の多いこと・標本が良質であること・同一種でも世界各地の標本が存在すること等が特徴です。
12	動物-2	貝類	前田和俊・大熊量平陸貝コレクション	約15,000個体	日本を中心とし世界各地の種を含む陸産貝類のコレクションで、高度経済成長期前後の標本が多数含まれており、日本各地で行われている絶滅の危機に瀕した野生生物種の検討の基礎資料としての価値も高いです。
13	動物-3	貝類	品川和久貝類コレクション	4,170点	日本を中心とし世界各地の種を含む陸産貝類が主ですが、汽水・淡水産貝類も豊富に含まれています。特に、日本に生息する種の大部分は含まれています。また入手の困難な旧ソ連や南アフリカ等の種も充実しています。
14	動物-4	棘皮動物	ウルトラブンプク	1点	変な生き物の代表格です。
15	動物-5	甲殻類	世界で中央博にしかない種の唯一無二の標本	15種	世界でこの中央博にだけ、それも1個体だけが現存する生物種の標本(ホロタイプ)です。希少性が非常に高いものです。
16	動物-6	甲殻類	世界最大のカニ2種	2点	世界最大のカニ2種(タカアシガニとタスマニアキングクラブ)をその場で比べることができます。
17	動物-7	甲殻類	世界最小のカニ	1点	世界最小のカニの1種ホンダヤワラガニです。世界最大の2種と比べるとその小ささにびっくりです。生物の多様性を知るによい題材のひとつです。
18	動物-8	昆虫	昆虫類タイプ標本群	約1,000点	館内外の研究者により新種記載の際にタイプ標本として指定された標本群です。
19	動物-9	昆虫	極東ロシア産昆虫標本	約1,000点	海外学術調査『北方系生物の起源と生物地理』で採集・研究されたカムチャツカ半島や北千島・沿海州地域の昆虫基礎標本です。
20	動物-10	昆虫	佐倉市産昆虫標本コレクション	約15,000点	平成12年刊行の佐倉市報告書自然環境調査に掲載された昆虫の証拠標本群で、データベース化され、公開済みです。
21	動物-11	昆虫	春田俊郎昆虫コレクション	約10,000点	日本やネパールの蛾の研究に対する功績の大きい春田俊郎氏が、30年以上にわたる研究の中で採集された昆虫標本です。特にネパールの蛾と世界の蝶は世界に誇るコレクションです。

## 千葉県立中央博物館 資料百選

全体No.	資料系No.	分野	資料(群)名	点数	資料概要
22	動物-12	昆虫	千葉県が模式産地の昆虫の標本	10点	ヒメハルゼミ、ルーミスジミ、イスマナゴゴミムシなどを含みます。
23	動物-13	昆虫	南アフリカ産『カカトアルキ目昆虫』	2点	世紀の大発見と言われた昆虫を発見とほぼ同時に入手し、展示公開したことから空前の反響をよんだ資料です。
24	動物-14	魚類	大型魚類骨格標本	2点	クロマグロ・他的大型魚類骨格標本です。
25	動物-15	鳥類	コアジサシ関係コレクション	約20点	千葉市の鳥、横芝光町の鳥であるコアジサシ関係の資料で、本剥製、仮剥製などの標本および内山春雄氏作製のカービングなどのコレクションです。
26	動物-16	鳥類	鳥類卵レプリカ関係コレクション	約40点	千葉県内で繁殖する種の卵のレプリカです。レプリカのコレクションは他の博物館にはないと思われます。
27	動物-17	哺乳類	千葉県産哺乳類標本群	5,045点	地域博物館の責務として千葉県産資料の収集に努めており、哺乳類標本の97%が千葉県産です。31種について、多数の剥製、骨格、毛皮、DNA分析用試料を収蔵し、多種多様な利用に常時、対応しています。
28	動物-18	哺乳類	日本産貴重哺乳類標本群	13点	我が国の代表的な貴重哺乳類の標本群です。国指定の特別天然記念物2種(アマミノクロウサギ、ニホンカモシカ)、及び同天然記念物2種(ケナガネズミ、ヤマネ)の剥製、骨格からなります。
29	植物・菌類-1	維管束	千葉県植物誌証拠標本コレクション	約14万点	地味ながら、一番大切なコレクションです。千葉県植物誌に掲載されている植物をほぼ網羅しています。証拠標本がある植物誌は、全国的に見てもまだ少なく、大変貴重です。
30	植物・菌類-2	維管束	若名東一植物標本コレクション	12,722点	千葉県在住の若名東一氏が1950-60年代に収集したコレクションです。千葉県の山武市で採集された標本が多いです。今では県で絶滅した植物を含みます。
31	植物・菌類-3	維管束	与世里盛春植物標本コレクション	2,973点	成東中学の教諭であった与世里盛春氏が昭和初期に収集した2,937点からなるコレクションです。主に千葉県の旧成東町から採集され、今では県で絶滅した植物を含みます。
32	植物・菌類-4	維管束	牧野富太郎千葉県産植物標本コレクション	257点	牧野標本館から分与された、日本の代表的分類学者牧野富太郎博士が収集した257点からなるコレクションです。一部に19世紀に採集された貴重な標本を含みます。
33	植物・菌類-5	維管束	井波一雄植物標本コレクション	48,080点	愛知県を中心とした東海三県および岐阜県の包括的なコレクションで、48,080点からなります。名古屋市中心部などすでに絶滅した産地の標本を多数含みます。
34	植物・菌類-6	維管束	極東ロシア植物標本コレクション	1,709点	ウラジオストックにある土壌学研究所から分与された極東ロシア植物相の包括的コレクションです。同地域は調査が極めて困難で、日本唯一の当該種の標本を多数含みます。
35	植物・菌類-7	維管束	ユキミグサ等基準標本	1点	キツネノマゴ科ユキミグサ( <i>Strobilanthes wakasana</i> Wakasugi et Naruhashi)の等基準標本で、正基準標本に次ぐ、分類学上非常に重要な標本です。同種は、福井県特産になっています。
36	植物・菌類-8	維管束	デンドロビウム・シライシー正基準標本	1点	ラン科セッコク属の <i>Dendrobium shiraishii</i> Yukawa et M.Nishidaの正基準標本で、当館でもっとも重要な基準標本の1つです。同種は、イリヤン・ジャヤ原産です。
37	植物・菌類-9	蘚苔類	モグリゴケ正基準標本	1点	国指定天然記念物「成東・東金食虫植物群落」に生育する蘚苔類を新種記載した際の証拠標本です。学名に <i>naruto-toganensis</i> という地元の地名が付けられています。当群落地が世界唯一、同属としては北半球唯一の産地で、世界的に貴重です。
38	植物・菌類-10	蘚苔類	コモチドリゼニゴケ正基準標本	1点	生態園で発見された新種の蘚苔類で、1991年に論文に発表されました。関東地方に多いですが、産地は少なく、貴重です。
39	植物・菌類-11	蘚苔類	房総産蘚苔類コレクション	約12,000点	新版千葉県植物誌(1975年)の基になった浅野貞夫コレクションをはじめ、房総の自然誌(蘚苔類誌)を解明する上で最も重要な標本です。
40	植物・菌類-12	蘚苔類	蘚苔類含浸標本	36点	蘚苔類の実物に樹脂を含ませた標本で、生きている時の姿や生態がわかる世界的に希な標本です。

## 千葉県立中央博物館 資料百選

全体No.	資料系No.	分野	資料(群)名	点数	資料概要
41	植物・菌類-13	藻類	千葉県産大型海産藻類コレクション	約5,000点	固有種オオアナメの副基準標本を含む、千葉県に分布する大型海産藻類約5,000点からなります。当館が創立以来収集してきたもので、房総半島の海藻相を知り、海の自然誌を理解するために重要な資料です。
42	植物・菌類-14	地衣類	千葉県産地衣類タイプ標本集	22点	当館の調査研究事業により、千葉県から発見された地衣類のスゲガサゴケなど新種22種のタイプ標本です。
43	植物・菌類-15	地衣類	中国雲南省産地衣類コレクション	約1,400点	当館職員の学術調査による世界有数の中国雲南省産の地衣類標本群です。アナイボゴケ属など11新種のタイプ標本を含みます。
44	植物・菌類-16	地衣類	房総産地衣類コレクション	約5,000点	当館の総合研究「房総の自然誌」の一環として収集された標本で、房総の地衣類誌を知る上で最も重要な標本です。
45	植物・菌類-17	地衣類	地衣類含浸標本	32点	地衣類の実物を樹脂で強化し着色したもので、生きていたときの姿や生態がわかる世界的にまれな標本です。
46	植物・菌類-18	地衣類	日本産地衣類タイプ標本集	17点	当館の調査研究事業により発見された地衣類のマユゴケなど新種17種のタイプ標本です。
47	植物・菌類-19	菌類	房総産大型菌類(きのこ)コレクション	約20,000点	正基準標本3点、副基準標本3点、従基準標本6点を含む、当館が創立以来独自で収集した房総産菌類のオリジナルコレクションです。房総の自然誌(菌類相)の解明のための最重要基礎資料です。他県でもこれほどのコレクションはほとんどありません。
48	総合-1	昆虫・貝類・維管束植物・蘚苔類・地衣類ほか	北マリアナ諸島学術調査コレクション	約5,000点	当館が1992年5月に行った世界初の北マリアナ諸島学術調査の標本です。維管束植物や蘚苔類、地衣類、昆虫、ダニなどの多数の新種を含み、当地域の生物コレクションとしては世界一です。
49	歴史-1	埋蔵文化財	浅間山古墳石室出土遺物	一括 (94箱)	浅間山古墳は竜角寺古墳群最大の終末期前方後円墳であり、石室前庭出土の一括遺物は重要な歴史的な意味を持っています。千葉県指定有形文化財に指定されています。
50	歴史-2	埋蔵文化財	荒海川表遺跡出土遺物	一括 (35箱)	関東地方最後の貝塚である荒海表遺跡出土品は、縄文時代から弥生時代への変化を知る上で欠かすことができません。
51	歴史-3	埋蔵文化財	石器石材標本	一括 (109箱)	千葉県から出土する後期旧石器時代の石器の素材となった石材を集めたコレクションで、標準資料としての意味を持ちます。
52	歴史-4	製作資料	笠森寺模型	1点	長南町にある笠森寺観音堂のジオラマです。観音堂は16世紀末の建立の四方懸造で、重要文化財に指定されています。
53	歴史-5	製作資料	成田山新勝寺レプリカ	1点	幕末の新勝寺と門前町を精密に復元したジオラマで、往事のよすがをしのぶ資料として重要です。
54	歴史-6	美術工芸	日本博覧図千葉県前編・後編	一括 (約400点)	明治時代中期に制作された銅版画集で、名所旧跡や寺社、豪農・豪商などが多数収録され、当時の景観を知る上での一級資料です。
55	歴史-7	美術工芸	職人尽絵九十六図貼交屏風	6曲1隻	1枚に2種ずつの職人を描いた48枚を貼交ぜたものです。大和絵系の絵師が17世紀末に描いたものと推測され、江戸時代前期の職人の風俗を知る上で重要な資料です。
56	歴史-8	美術工芸	洛中洛外図屏風	6曲1隻	16世紀中期以降、数多くの洛中洛外図屏風が製作されますが、当資料は江戸時代初期のもので、当時の京の景観や風俗がつぶさに描かれています。
57	歴史-9	美術工芸	小金牧鹿狩図屏風	1隻	下総国の小金牧で、幕府の将軍らが、鹿狩(しがり)をする様子を描いた屏風です。狩りをする武士の様子や逃げる獲物の様子が詳細に描かれ、さらに当時の植生など自然の様子をうかがうこともできます。
58	歴史-10	古文書	房総数学文庫	一式	旭市に伝わる和算関係の資料集で、数学者花香安軒の一人が編纂したものです。443冊からなり、千葉県指定有形文化財に指定されています。
59	歴史-11	古文書	ペリー日本遠征記	3冊	ペリー艦隊の正式報告書です。航海や寄港地の出来事や風俗習慣だけではなく、動物・植物・天文などの調査・研究成果が、カラーのイラストとともに詳述されています。19世紀中葉の米国外交が軍事一辺倒でなかったことを示す貴重な資料です。

## 千葉県立中央博物館 資料百選

全体No.	資料系No.	分野	資料(群)名	点数	資料概要
60	歴史-12	古文書	海夫注文(複製)	1点	14世紀の「香取の海」の湊と領主の名が記載され、広大な内海の広がり、そこで生活する漁民の存在を示す資料です。香取大瀨宜家文書(重要文化財)の複製です。
61	歴史-13	古文書	波多沢村検見帳(複製)	1点	中世の金沢称名寺領の村(木更津市)の年貢などの台帳です。富津から東京湾を隔てた対岸の湊まで、輸送業者が介在していることを示す貴重な資料です。神奈川県立金沢文庫所蔵文書の複製です。
62	歴史-14	その他	伊能忠敬測量器具(複製)	7点	初めて本格的な日本地図を作成した伊能忠敬の測量器具の複製です。実物(伊能忠敬記念館保管)は、他の関係資料とともに、国宝に指定されていることから、本館の精密な複製資料の貸与希望が多くなっています。
63	歴史-15	その他	焼夷弾	1点	1945年7月、米軍が千葉市空襲で使用したものです。中に可燃性液体を入れて、上空より大量に投下し、市民や家屋の無差別な焼失をねらったものです。他に残存例がありません貴重な資料です。
64	特殊-1	貴重書	「自然の体系」初版	1点	1735年出版の「Systema Naturae」です。オランダで出版されたリンネが世に出るきっかけとなった本です。版を重ね、この第10版は、動物分類学の基礎文献になっています。
65	特殊-2	貴重書	リンネ関係レンスコープコレクション	5,397点	分類学の祖、カール・フォン・リンネの著作物、その弟子や関係者の著作物、肖像画、リンネの肖像を用いたメダルなどを網羅したコレクションです。
66	特殊-3	貴重書	カーチス植物学雑誌	全182巻+インデックス2巻	1787年に創刊された英国の植物学雑誌で、1980年までの182巻を所蔵します。初期は銅版手彩色であり、石版手彩色を経て活版印刷となり、印刷術の歴史を物語ります。
67	特殊-4	貴重書	植物ならびに園芸文化史関係の文献、絵画	浮世絵127枚+和漢籍139点	千葉大学園芸学部元教授の故岩佐亮二氏が集めた植物が描かれた浮世絵127点と植物にかかわる文書138点のコレクションです。房総ゆかりの画家堤秋月が1804年に描いた「大黒の植木売り(仮題)」などがあります。
68	特殊-5	貴重書	大型菌類(きのこ)古典籍類コレクション	約20点	江戸時代の日本や1700年代から1800年代にかけての欧州で出版された、大型菌類に関する図譜類コレクションです。菌類図譜の国内国外の主要な歴史をたどることのできる、日本でも有数のコレクションです。
69	特殊-6	貴重書	二口善雄植物画集	一式	日本の植物画の草分けと言われる二口善雄氏の植物画(水彩画)です。文部省理科図集、ばら花譜などの原画が多いです。
70	特殊-7	貴重書	A Voyage to the Pacific Ocean キャプテン・クック世界一周航海完全公式記録	全10巻(図2巻、テキスト8巻)	1773-1785年に出版された、キャプテン・クックの世界一周航海の公式記録です。銅版画の図版も、本の装丁も美しいです。
71	特殊-8	貴重書	ジョゼフ・バンクス植物銅版画集	743枚(35ケース)+カタログ1巻	1768-1771年に描かれた原画を元に作られた銅版が長く大英博物館に保管されており、それを1989年から順次印刷・出版したものを購入したものです。
72	特殊-9	貴重書	南アメリカ旅行記(ファクシミリ版)+関連資料	全30巻+関連資料58点	フンボルト/ボンプランによる著作物です。
73	生態・環境-1	生物音響資料	千葉県の音環境	約180点	房総の自然環境の移りかわりを調べたい方にお勧め。生態園定期調査や北総各地や谷津田、小学校区比較調査、利根川水系音環境調査により収集された。都市化や休耕地による変化が記録されている(waveファイル)。
74	生態・環境-2	生物音響資料	音の標本箱 生態園の生き物	254点	身近な野鳥・カエル・鳴く虫の聞き比べにお勧め。生物音声識別支援装置「ききみみずきん」で集めた音のデータベース(2003-2008年)をもとに、生態園の生き物の音を紹介。地図検索・聞き取りクイズ付き。
75	生態・環境-3	生物音響資料	音の標本箱 日本と世界の自然の音(CD)	279点	自然の音をじっくり聴きたい方にお勧め。日本や世界各地の生物や音環境のCDをチェンジャーに搭載。野鳥のさえずりからクジラの声、絶滅の危機にある生物、野生生物録音史、企画展「音の風景」出展資料など。
76	生態・環境-4	生物音響資料	OH!ききみみずきん	1点	鳥・カエル・虫の音を聞き分けたい方にお勧め。マイク音や千葉県内外で収集した音源データベース内の音を使って、どの生物の音声に近いか、「ききみみずきん(PC版)」の音声識別支援機能により学習できます。

## 千葉県立中央博物館 資料百選

全体No.	資料系No.	分野	資料(群)名	点数	資料概要
77	生態・環境-5	生物音響資料	地域の音が出る地図	101点	地域に響く音を調べたい方にお薦め。生態園をはじめ水郷佐原地域や地域内の大切な場所で聞こえた音を、小学生からシニアまで参加して記録しました。地図上で音を聞いたり、パノラマ音空間像を体験したりできます。
78	生態・環境-6	生物音響資料	ラナフォン	1点	全国のカエル30種の声を聞き比べたい方にお薦めのキーボードを活用した体験展示。田んぼや川などカエルがすむ環境と季節変化を音で表現できます。リズムやメロディーに合わせてカエルの声に親しむこともできます。
79	生態・環境-7	生物音響資料	松浦一郎生物音声コレクション	1,424点	戦後日本の野生生物録音の草創期に活躍した松浦一郎氏による貴重な録音。鳴く虫やカエル、野鳥の音声、東京や軽井沢など各地の音環境の変化(1950-80年代)等を記録した重要な資料(waveファイル)です。
80	生態・環境-8	生物音響資料	さえずりで見える軽井沢21年の環境録音(峯岸コレクション)	約90点	野鳥研究家の峯岸典雄氏による貴重な録音。軽井沢の別荘地に定点を置き、1987年から野鳥のコーラスを毎年記録。1987年から2008年にかけて、別荘地の野鳥のさえずりが激減したようすを記録しています。
81	生態・環境-9	生物音響資料	夜明けの野鳥生態録音(金田忍コレクション)	273点	各地の野鳥の夜明けのコーラスを聴き比べたい方にお薦め。京都を主に全国の探鳥地で録音(1986-2006年)。貴重種や重要種の音声はもちろん、貴重な野鳥の夜明けの音声活動を記録する録音コレクションです。
82	生態・環境-10	映像資料	カイツブリの生態(映像)	175点	カイツブリは小さいけれど、がんばりやさん。野鳥観察舎の望遠鏡がとらえた浮巢作りや天敵との闘い、ほほえましい子育てなど繁殖活動(2003-2012年)の記録です。無編集・VHS無音・DVD化予定。
83	生態・環境-11	植物	絶滅危惧ラン科植物自生個体群	3点	環境省が2007年に絶滅危惧II類とした、マヤラン、クゲヌマラン、キンランの自生個体群です。花も可憐で、園路脇などで来園者が間近に観察できます。開園前には造成地であった植栽樹林下に近年自生するようになり、自然再生過程を表す生きた資料としても貴重です。
84	生態・環境-12	植物	生態園の植物群落	1点	房総の代表的自然の再現を中心とする中央博の野外展示です。造成地に苗木を植栽した区域や、自然の林を土ごと移植した区域、この地在来の発達した雑木林が保全されている区域などからなり、履歴や植物相データが記録され、自然保護や自然再生上も貴重です。
85	生態・環境-13	生態環境	林辰雄氏撮影写真	約14,000点	故・林辰雄氏が、昭和30年代以降の東京湾岸、印旛沼周辺、九十九里浜から外房海岸で撮影した写真で、水辺に生きる人々の暮らし、生業がテーマです。特に、東京湾岸の埋め立てを早くから察知し、消えゆく干潟を念頭に撮影した写真は、未来への貴重な記録です。
86	海-1	無脊椎動物	オニヒトデ	1点	背面の大部分が鋭いトゲで覆われ、さらにそのトゲには毒があるため、海の危険生物として有名なヒトデ。サンゴ礁の破壊者としても知られています。高知県で駆除活動に参加して得られた体幅50cmを越す大型個体を所蔵しています。
87	海-2	無脊椎動物	コモチツボ	1点	深海に住む六放海綿のなかまで、勝浦市の沖でキンメダイ漁によって混獲された個体です。骨格がガラスと同じケイ酸ナトリウムによって形成されており、繊細なガラス細工のような美しさをもっています。
88	海-3	無脊椎動物	タカアシガニ	1点	世界最大の節足動物で、ハサミを広げた幅が3mに達するものもあります。そのような世界一のカニが、南房総の東京海底谷や外房の鴨川海底谷など、房総半島周辺の深海域にも生息しています。
89	海-4	無脊椎動物	深海性ヤギ	1点	勝浦沖で行われているキンメ釣漁で混獲された美しい標本です。通常の深海調査では網を使うことが多く標本が傷みがちですが、この個体は釣り上げられたため、各部が非常によい状態で保存されています。
90	海-5	無脊椎動物	エチゼンクラゲ	1点	大量発生した際に、日本海を北上し津軽海峡を通過した後、三陸沖を親潮に乗って南下してきた個体で、採集時には傘径が約1mありました。やや崩れかけていますが、大型個体の全身標本は数が少なく貴重です。

## 千葉県立中央博物館 資料百選

全体No.	資料系No.	分野	資料(群)名	点数	資料概要
91	海-6	無脊椎動物	ダイオウイカ	1点	ダイオウイカは広く深海に生息する大型のイカです。この個体は2007年に山口県の漁港に漂着した個体です。一番長い触腕と呼ばれる腕が失われていますが、それでも腕を含めた全長が2.7 mあり、見応えがあります。
92	海-7	脊椎動物	ツチクジラ	1点	ツチクジラは北太平洋に生息するハクジラの仲間で、千葉県南房総市和田沖では現在も本種の捕鯨が行われています。1996年7月に捕獲された体長10.5 mの雄の全身骨格が当館中庭に展示されています。
93	海-8	脊椎動物	マッコウクジラ	1点	マッコウクジラはハクジラ類で最も体の大きな種です。この下顎骨は2003年12月に千葉県南房総市白浜に漂着した体長17.6 mの雄のもので、長さ4.9 mあります。
94	海-9	脊椎動物	イッカク	2点	イッカクは北極海を中心に分布するハクジラの仲間で、雄では長い牙が角のように前に伸びているのが特徴です。国内では唯一、雌雄そろった完全骨格標本です。
95	海-10	魚類	カラチョウザメ	1点	カラチョウザメは主に長江に生息し、南日本沿岸まで回遊することがあります。この標本は1958年5月に千葉県富津市金谷の定置網で漁獲されたもので、千葉県産唯一の標本であるとともに、本種の分布の東限記録になっています。
96	海-11	魚類	ダウリアチョウザメ	1点	ダウリアチョウザメは主にアムール川に生息し、北日本沿岸まで回遊することがあります。この標本は1963年5月に千葉県館山市塩見で漁獲されたもので、千葉県産唯一の標本であるとともに、本種の分布の南限記録になっています。
97	海-12	魚類	ミツクリザメ	2点	ミツクリザメは深海性のサメの仲間で、頭部の先端が扁平して突出しているのが特徴です。希少なサメですが、東京湾の深海からは比較的多くの個体が採集されています。
98	海-13	魚類	オオウナギ	1点	オオウナギは熱帯域を中心に分布するウナギの仲間で、黄褐色の体に黒褐色の斑紋が全身に広がっているのが特徴です。陸水域で成長した個体では千葉県が分布の北限になっています。
99	海-14	藻類	オオノアナメ	2点	褐藻コンブ目の一種で、世界でも千葉県勝浦市からいすみ市に至る外房沿岸でのみ見つかった海藻の標本です。しかも水深17m以深にだけ生育が確認されており、めったに採集されないレアものです。
100	海-15	藻類	日本産アマノリ属絶滅危惧種	約150点	乾海苔の代名詞として名高いアサクサノリをはじめ、環境省により選定された日本産紅藻アマノリ属絶滅危惧種(絶滅危惧Ⅰ類および準絶滅危惧)4種全ての標本が保管されています。
101	大多喜城-1	歴史資料	紙本着色本多忠勝像	1幅	徳川四天王の1人に数えられる、大多喜城主本多忠勝の画像です。鹿角付きの兜に黒糸威の甲冑姿の本資料は、生涯50数回の戦をくぐりぬけた武将像がよく現されています。
102	大多喜城-2	歴史資料	徳川十六将図	1幅	徳川家康の譜代衆十六人を家康と共に描いた画像です。家康をめぐる武将には、後世、三傑・四天王などと呼ばれた者がいました。いずれも家康の天下取りに尽くした者たちです。
103	大多喜城-3	歴史資料	『単騎要略』	1冊	伊勢国(三重県)の村井昌弘が著したものです。具足着用の方法等が図解入りで記されています。単騎とは一騎のことで武士一人分の武装を指します。
104	大多喜城-4	歴史資料	三ツ扇紋付黄羅紗陣羽織	1領	大多喜城主松平氏所用の陣羽織で、江戸時代には貴重な輸入品であった羅紗(らしゃ)を素材にしたものです。松平氏の紋所「三ツ反扇」を配してあります。
105	大多喜城-5	歴史資料	茶糸威亀甲金量具足(提灯兜付)	1領	当世具足の一様式です。大多喜藩主松平氏所用の置具足(たたみぐそく)で、亀甲金を鎖綴りにし、折り畳めるため持ち運びやすくなっています。具足は松平家の武器帳に記載されています。
106	大多喜城-6	歴史資料	紺糸威鎧(本小札腹巻)	1領	当世具足、復古調の鎧(よろい)です。江戸時代に戦いが無くなると鎌倉時代の形式を模倣した飾り鎧が流行しました。この鎧は幕末の水戸で製作された腹巻き形式鎧で、兜は水府住義秀作の120間筋兜です。

## 千葉県立中央博物館 資料百選

全体No.	資料系No.	分野	資料(群)名	点数	資料概要
107	大多喜城-7	歴史資料	紺糸威仏胴具足	1領	大多喜城主松平氏所用の復古調甲冑です。胴に矧目がみられず仏像の胸に似ているので、この呼び名があります。兜の前立等に家紋「三反り扇」が施されています。
108	大多喜城-8	歴史資料	赤糸威鎧(複製)	1領	源平合戦期(平安末期)の代表的大鎧で十二間片白星兜(かたじろほしかぶと)が付きます。畠山重忠が武州御嶽神社に奉納したと伝えられるものです。現品は国宝で御嶽神社蔵となっています。
109	大多喜城-9	歴史資料	短甲(たんこう)復原	1領	古墳時代(5世紀後半～6世紀)の「よろい」で前で引き合わせる形式です。原品は、市原市東間部多1号古墳より出土し、市原市埋蔵文化財調査センターが所蔵しています。
110	大多喜城-10	歴史資料	白革威腹巻	1領	小札(ござね)を鹿の革で威(おど)した腹巻(はらまき)です。腹巻は南北朝時代から室町時代に流行した軽武装用の鎧で、背で合わせる構造です。
111	大利根-1	民俗	県指定有形民俗文化財 利根川下流域の漁労用具	251点	かつて利根川下流域で実際に使われていた漁労用具で、水郷のくらしと生業を今に伝えるものです。
112	大利根-2	古文書	県指定有形文化財 神崎神社文書	1巻	鎌倉～室町鎌倉時代初期の神崎荘及び神崎神社関係の古文書などからなります。県内の荘園、神社領関係を知る上で極めて重要な史料です。
113	大利根-3	古文書	県指定有形文化財 神宮寺文書	2箱	神宮寺は神崎神社の別当寺にあたります。中世東総の宗教文化に関する貴重な資料です。
114	大利根-4	鳥類	鳥類標本	218個体	水郷地域に生息する主要な鳥類の標本です。
115	大利根-5	古写真	水郷の原風景	約200点	土地改良以前の神島地区をはじめとする「水郷」の景観、観光、農業、漁業、生活、子供、祭礼などを記録した古写真です。
116	大利根-6	民俗	むかしの道具	150点	旧大利根博物館で収集した、神島地区を中心とする農家の生活用具です。
117	大利根-7	書簡	夏目漱石書簡(寄託資料 寺田家 文学資料の内)	1点	夏目漱石から伊藤左千夫に宛てた書簡です。左千夫が明治39年に雑誌「ホトギス」に発表した『野菊の墓』について、漱石は「あんな小説なら何百編よんでもよろしい」と賞賛しています。手紙の送り主の金とは、漱石の本名、金之助のことです。
118	大利根-8	絵画	河童図	1点	小川芋銭作「利根川の夜船に現れたるカッパ」の原画を写したものと考えられる河童図。明治39年に茨城県波崎の漁師が利根川で鰻漁をしていた折、舟の縁に現れたとされる怪物を描いている。芋銭の河童図の画賛末尾には「此話を漁人より直接聞きたる人想像して描きたるを更に我画にものしたるものなり」とある。